

2006年10月24日

東京たまエコセメント化施設見学会

平成18年6月にエコセメント化施設が稼働したと聞いていたので、是非見たいと思っていたところ、今回、東京都環境学習リーダー連絡会主催の見学会のあることを知り参加した。参加者はJR青梅線の青梅駅に集合し、車に分乗して処分場へ移動した。東京都の25市1町は東京たま広域資源循環組合を組織し、焼却残渣と不燃ごみなどを日の出町にある処分場（二ツ塚）に埋め立てているが、その一角に、エコセメント化施設はある。この施設では焼却灰に石灰石や鉄原料などを加え、通常セメント組成にあわせて焼成しセメントを製造している。

二ツ塚処分場は今までどおり埋め立てを続けると平成25年には満杯になるが、埋め立て処分されるごみの80%は焼却灰であり、これをセメント化することにより30年以上満杯になるのを伸ばすことができると聞いてその効用の大きさに驚かされた。

日の出町にあるもう一つの処分場（谷戸沢）は平成10年4月に満杯となり、現在は野生生物の生息場所として自然回復段階にある。



エコセメント化施設を外周道路から望む